

鹿山会の活動は、皆さまの会費を原資に運営されています。活動の充実に向け、会費納入のご理解とご協力をお願いいたします。

- (1) 令和7年度鹿山会本部年間予定
- (2) 令和7年度鹿山文庫講演会
- (3) 千葉県県立学校チャレンジ応援基金への寄附で佐倉高の支援を
- (4) 佐倉市立美術館「香取秀真の眼」企画展開催 1月31日(金)～3月23日(日)
- (5) 投稿をお待ちしています

本年も鹿山会活動へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

◇令和7年度(2025年度)

- 鹿山会評議員会 5月17日(土)午前10時～ 地域交流施設
- 第75回鹿山会総会 6月14日(土)午前10時～ ウィンストンホテルユーカーリ
- 鹿山文庫講演会 8月8日(金)午後2時～佐倉藩士田辺十三郎と幕府海軍を中心に 東京大学助教 水上氏
- 鹿山会報を10月20日発行に戻します *令和6年度は郵便料金値上げ対策として9月に発行

(1) 令和7年度鹿山会本部年間予定

令和7年度(2025年度)鹿山会本部の活動を次のように進めて行く予定です。鹿山会の活動の充実に向けて、皆様からの情報等の提供、評議員会や総会へのご参加、鹿山文庫講演会の聴講など、よろしくをお願いいたします。

○令和7年

- 4月12日(水)午前10時～ 第1回役員会 地域交流施設
- 5月17日(土)午前10時～ 評議員会 地域交流施設
- 6月14日(土)午前10時～ 第75回総会
ウィンストンホテルユーカーリ
- 8月8日(金) 第2回役員会
- 8月8日(金) 鹿山文庫講演会
- 10月18日(土)午前10時～ 第3回役員会 地域交流施設
- 10月20日 鹿山会報・年会費納入お願いを郵送配付
- 11月1日(土) 第22回全国藩校サミット朝倉大会(福岡県朝倉市)

○令和8年

- 1月10日(土)午後3時～ 第4回役員会
- 3月14日(土)午前10時～ 第5回役員会

(2) 令和7年度鹿山文庫講演会

鹿山文庫講演会を8月に開催する予定です。

日時：令和7年8月8日(金)受付午後1時30分～ 講演 午後2時～

場所：佐倉高校内地域交流施設

講演：東京大学史料編纂所 近世史料部門 維新第2室 助教 水上 たかね氏
～佐倉藩士田辺十三郎と幕府海軍を中心に～

定員：60名予定

*鹿山会会員(佐倉高卒業生)以外の方でも、また佐倉市以外に在住の方でも聴講いただけます。

*応募要領等は、今後鹿山会 hp でご案内いたしますとともに、

佐倉市広報紙「こうほう佐倉」7月1日号「情報のひろば」に掲載する予定です。

佐倉市広報紙は、佐倉市 hp からご覧いただけます。

令和6年度第4回役員会を開催 1/11



令和7年度年間スケジュール、鹿山会活動の方向について、鹿山文庫講演会の開催計画、郵便料金値上げ対応とした9月会報発行を従来の10月とすることなどを確認しました。

(3)千葉県県立学校チャレンジ応援基金への寄附で佐倉高の支援を

*千葉県条例ですが、県外の皆さまからの寄附が可能です。

千葉県によるこの応援基金は、卒業生や地域住民、企業など、様々な方からご寄附を募り、それを基金に積立て、千葉県立高校が策定する「教育活動の充実プラン」「地域交流・地域貢献プラン」に充当することにより、各高校のプランの実現を図ろうとするものです。佐倉高も、3つのプランを策定しています。

～このプラン実現に向けて、ご支援、ご協力をお願いいたします。～

○税法上の優遇措置があります。

・個人の場合：ふるさと納税ワンストップ特例制度や確定申告により、住民税等の寄附金控除を受けることができます。

・企業の場合：寄附金額を損金算入することができます。

○寄附いただけない方

・在校生及びその保護者の寄附は受けられません。

・PTA 及びそれに類する団体の寄附は受けられません。

*詳しくは「千葉県県立学校チャレンジ応援基金」検索でご確認ください。

*佐倉高 hp・寄附からもご確認できます。

*佐倉高事務室までお問い合わせください。寄附申出書も用意されています。

□ 電話 043-484-1021 ファックス 043-486-0903

*鹿山会では対応できませんので、高校事務室までお問い合わせください。ご了承願います。

佐倉高が策定した3つのプランの名称・プランの概要・目的・寄附募集額・募集期限

教育活動の充実プラン

①学習環境整備

【目的】教室に縛られない学習環境の整備

【概要】モニター等購入、Wi-Fi 環境整備（体育館、特別教室棟、記念館）

【寄附募集額】950万円

【寄附募集期間】令和7年3月

②生徒の探究学習、海外研修等への援助

【目的】探究学習の質的向上

【概要】大学教員や企業研究者による講義、研究施設訪問のためのバス借上、千葉大留学生による語学指導学

【寄附募集額】100万円

【寄附募集期間】令和7年3月

地域交流・地域貢献プラン

③佐倉高等学校地域貢献・東郷池整備への支援

【目的】歴史財産の整備

【概要】学校の歴史的シンボルである旧佐倉藩主堀田正倫公が寄附した「記念館」の前庭にある東郷池の整備（循環設備・浄化槽・排水設備・井戸を整備し、池の水を綺麗にする）

【寄附募集額】140万円

【寄附募集期間】令和7年3月

(4)佐倉市立美術館「香取秀真の眼」企画展開催 1月31日(金)～3月23日(日)

令和6年度鹿山文庫講演会で紹介した香取秀真の作品展が、佐倉市立美術館で開催されます。

佐倉高校の前身である佐倉修正学校に学んだ鑄金工芸作家、歌人。学問としての金工史を確立し、美術の工芸家として初の文化勲章を受章した香取秀真。ぜひ佐倉市立美術館の企画展をご覧ください。

一般600円(480円) 大学生400円(320円) 高校生以下無料

生い立ち～佐倉の鎮守・麻賀多神社の養子に～

鑄金家であり、正岡子規門下の歌人としても知られる香取秀真（1874～1954）は、戦前には皇室技芸員に任命され、戦後は工芸作家としてはじめて文化勲章を受章するなど、明治末から昭和初めにかけての工芸界で大きな影響力を持った。秀真は本名を秀治郎といい、現在の印西市船尾に生まれた。生家の香取家は分家の農家だったというが、本家は代々産土神の宗像神社の神主の家柄だったという。数えて7歳の時に、佐倉の鎮守・麻賀多神社宮司の郡司家に宮司の跡取りとして養子に出された。（入籍は15歳になってから）

当時の養家の当主・郡司秀綱は、香取の本家から別れた家から郡司家に入った人で、釣りや狩猟、盆栽などをする趣味人であったが、一方で国学を学んだ学者でもあったという。秀真の学究的な性格は、この秀綱の影響が大きいと考えられる。

秀真は佐倉では鹿山小学校（明治14～）を皮切りに、佐倉高校の前身の佐倉英学校（明治20～）、佐倉高等小学校（明治21年～）、佐倉集成学校（明治22年～）と進学する傍ら、明治19年頃より佐倉藩の儒学者・續豊徳に漢学を学び、佐波丈夫に英語を学んだ。秀真のもう一つの顔である歌人としての萌芽も佐倉の地で生まれ、成徳書院の文庫から寛永6年版の『万葉和歌集』を借り出して筆写したという。

神主の跡継ぎとして郡司家に養子に入った秀真が東京美術学校（現、東京藝術大学）に進学した経緯は不明である。いずれにせよ、秀真が望んだ東京遊学を養父の理解によりかなえられたことは、鑄金家・香取秀真の誕生に大きな影響を与えると共に秀真自身も生涯にわたり恩義を感じていた。……………

*鹿山会報第 20 号は、鹿山会ホームページでご覧いただけます。

(5) 投稿をお待ちしています 鹿山会広報担当

会員皆様からの投稿をお待ちしています。ホームページや会報で紹介したいと思います。

テーマや文字数、画像の有無は問いません(営業、政治、宗教活動等不適当と思われる内容については、掲載できません)。

ご自身のこと、部活 OB 会、同期有志の会、クラス会、趣味の会、団体活動の立ち上げや参加者募集等、幅広く募集します。*掲載する場合は、広報担当により調整させていただきます。

□記載必須事項

1. プロフィール等：氏名・卒年
2. 原稿：①タイトル②本文③必要に応じ画像等 3. 連絡先 住所、メールアドレス

担当：鹿山会広報担当 大野直道・S45 年卒 E-mail naomichi.ohno@catv296.ne.jp



鹿山会報第 20 号 2024(令和6)年8月10日 (土)

香取秀真生誕150年 没後70年 生い立ちとその造形

本稿 浩介

香取秀真(1874～1954)は、鑄金家であり、正岡子規門下の歌人としても知られる。戦前には皇室技芸員に任命され、戦後は工芸作家としてはじめて文化勲章を受章するなど、明治末から昭和初めにかけての工芸界で大きな影響力を持った。秀真は本名を秀治郎といい、現在の印西市船尾に生まれた。生家の香取家は分家の農家だったというが、本家は代々産土神の宗像神社の神主の家柄だったという。数えて7歳の時に、佐倉の鎮守・麻賀多神社宮司の郡司家に宮司の跡取りとして養子に出された。……

鹿山会報第 20 号 2024(令和6)年8月10日 (土)

香取秀真(1874～1954)は、鑄金家であり、正岡子規門下の歌人としても知られる。戦前には皇室技芸員に任命され、戦後は工芸作家としてはじめて文化勲章を受章するなど、明治末から昭和初めにかけての工芸界で大きな影響力を持った。秀真は本名を秀治郎といい、現在の印西市船尾に生まれた。生家の香取家は分家の農家だったというが、本家は代々産土神の宗像神社の神主の家柄だったという。数えて7歳の時に、佐倉の鎮守・麻賀多神社宮司の郡司家に宮司の跡取りとして養子に出された。……